

## 新井小学校区 通学路における緊急合同点検の結果について（H24.11.30 現在）

新井小学校区については、8月22日に合計9箇所の点検を実施した。教頭、PTA副会長、妙高警察署担当者、市建設課担当者、市教育委員会担当者、合計6名で行った。（県道路管理者については、8月22日の点検結果を踏まえて8月27日に市建設課担当者、市教委担当者と共に点検を行った。）

概要について以下に説明する。

点検した9箇所すべてについて対策を実施する方針である。具体的な対策については、合同点検の際に現場で検討し、学校・PTA・地域、警察署、市教委、市道路管理者、県道路管理者、それぞれ役割分担を確認した。

すでに実施したのは、以下の対策である。

- ・道路側の柵を高くし、側溝蓋を増やした。児童にも近づかないよう指導をした。（中町つるや薬局脇の側溝）
- ・柳の枝の剪定（やなぎ通り）
- ・横断旗設置（渋江町会館前横断歩道）

今年度中（冬期）に実施する予定なのは、以下の対策である。

- ・町内会長へ除雪について相談と児童に安全指導（新井郵便局前ごみステーション付近）
- ・注意看板設置（白山神社から（株）三ツ和にかけての県道、学校町セブンイレブン前）
- ・道路状況を見て凍結防止剤散布（小出雲2丁目旧北国街道）

次年度実施のため検討しているのは、以下の対策である。

- ・新井小学校前北東側の五叉路への横断歩道新設。道路幅員が狭いことから検討中。

いい対策がなく検討中なのが以下の箇所である。

- ・篠原酒店から白山神社にかけての県道について、歩道はあるが、緩やかなカーブになっていて交通量が大変多い。頑丈なガードレールが必要との学校からの希望があるが、歩道の縁石がガードレールの意味もあり、新たなガードレール設置は難しい。検討中である。

次年度は、矢代小学校が新井小学校に統合となるため、矢代小学校区も含めた通学路の危険箇所についての対応が必要になる。